



2025年3月3日

各位

会社名 株式会社アスタリスク
代表者名 代表取締役執行役員社長 鈴木規之
(コード番号:6522 東証グロース)
問合せ先 取締役執行役員管理統括室長 山本和矢
(TEL. 050-5838-7864)

【製品発表】アスタリスク、「不正入場通報システム」を発表 ～顔認証端末「AsReader GoMA」を活用したセキュリティ対策！～

当社は、顔認証技術と人追跡技術を組み合わせた新システム「不正入場通報システム」を開発いたしました。本システムは、当社の顔認証端末「AsReader GoMA」を用いて人物を特定し、天井に設置したカメラで人の動きを追跡することで、不正入場を即座に検知・通知するシステムを構築しました。

工場や大型店舗など、多くの人が出入りする環境では、ゲートやドアを設置せず、警備員が目視で入場者を監視しているケースが一般的ですが、人の判断だけでは見落としや誤認のリスクがあり、従来の鍵やカードによる認証も貸し借りが可能なため、万全なセキュリティ対策とは言えません。

実際に、物理鍵を使用した貸金庫の運用においても不正が発生した事例があり、より厳密な入場管理の仕組みが求められています。

そこで当社は、人追跡技術の実証実験店舗である「こがね製麺」などで積み重ねてきた技術の実績を基に、顔認証技術を組み合わせることで、より高精度な入場管理システムを構築しました。

本システムでは、認証されていない人物が通過した際に即座に検知し、警告灯の点灯や警告音の発報を実施するとともに、その人物の情報をリアルタイムで通知します。また、不審人物を検知した場合は、動画で記録し、関係者へ通知することによって、即座に対応することが可能です。

顔認証(GoMA) + 人物追跡 + 警報システム(警告ランプ)

鍵としてだけではなく、ビルや通用口の入退場管理としての利用！

人物追跡カメラとの連動によりセキュリティの向上を実現

また、顔を登録していない一時的な来客については、受付でQRコードなどを発行し、入場記録を管理することができます。これにより、地震や火災などの緊急時にも、館内の滞在者を把握でき、迅速な対応が可能となり、安全性が向上します。



この技術は、工場や店舗の従業員専用エントランスをはじめ、イベント会場の入場管理などに活用可能です。これまでにない画期的なシステムとして、今後幅広い分野で活用されると期待されます。

■「リテールテックJAPAN 2025」、「SECURITY SHOW 2025」で最新技術を体験可能！

3月4日(火)～3月7日(金)に東京ビッグサイトで開催される「リテールテックJAPAN 2025」、「SECURITY SHOW 2025」では、「不正入場通報システム」をはじめとする当社の最新技術を体験いただけます。

当社は3箇所の展示ブースを設け、そのテーマ及び内容は以下のとおりとなっております。

- ・Aブース(トータル流通システム / 東2ホール) :スマホが主役の業務改革ソリューション
- ・Bブース(リテール物流 / 東3ホール) :新技術を取り入れた革新的な商品管理
- ・Cブース(SECURITY SHOW / 東7ホール) :顔認証システムや3Dデジタルショーケース

※「不正入場通報システム」は上記のうち、Cブースに展示しております。

また、今回の出展では本技術に加え、当社が独自に開発し、圧倒的な読み取り性能を誇る二次元コード「AsCode」など、さまざまなソリューションの展示を行います。これら新技術を体験いただける絶好の機会となっておりますので、ぜひご来場ください。

今回発表の「不正入場通報システム」で活用する、当社の顔認証端末「AsReader GoMA」の詳細は以下のページをご確認ください。

「AsReader GoMA」詳細ページ:

<https://asreader.jp/lp/goma/>

以上